

21PO-pm428

「地域チーム医療を担う薬剤師養成プログラム：八尾ユニット」における 実習生満足度解析

○小竹 武¹, 小川 充恵², 小枝 伸行³, 山崎 肇², 大里 恭章⁴, 篠原 裕子⁵, 奥村 隆司⁵, 中野 道雄⁵, 村岡 未彩⁶, 西野 隆雄⁶, 平田 收正⁶, 井上 知美¹, 伊藤 栄次¹, 西田 升三¹ (¹近畿大薬, ²八尾市立病院薬, ³八尾市立病院事, ⁴八尾徳洲会総合病院, ⁵八尾市薬剤師会, ⁶大阪大院薬)

【目的・方法】2016年度より大阪府八尾地区においては「地域チーム医療を担う薬剤師養成プログラム：八尾ユニット」による病院（精神科，回復期），学校薬剤師（教師指導），研修会（地域医療関連）での連携実習を実施しているが，このプログラムにおける成果の可視化は極めて重要である。本研究では2016～2018年度の近畿大学実習生のアンケート結果（解析可能対象実習生数、病院：385名、薬局：362名）から実習生の実習全体満足度、施設満足度、実習内容把握度（10段階評価）を比較解析した。

【結果・考察】八尾地区と他地区の2群間では、Mann-Whitney U testで病院実習における全体満足度に有意差は認められたが（八尾地区：8.72、他地区：7.99、 $P=0.022$ ）、施設満足度、把握度に有意差は認められなかった。薬局実習においては3項目とも有意差が認められなかった。しかし、クラスター分類（wald法；八尾地区と他地区、病院：調剤実習、医薬品管理、チーム医療、TDM、患者対応、薬局：調剤実習、医薬品管理、学校薬剤師、薬局製剤、患者対応の充実度5段階回答）で分類された3群（病院分類度数割合：八尾地区4.7%、実習充実度の低い群21.6%、高い群73.8%、薬局分類度数割合：八尾地区8.3%、実習充実度の低い群38.1%、高い群53.6%）の比較解析では、すべての3項目で有意差が認められ（ $P<0.001$ ）、実習の満足度、把握度は実習内容の充実度に強く影響していることが示された。八尾ユニット該当の実習生の実習満足度、内容把握度は高く、連携実習の充実度が高いと認識されていたが、一方で、他地区において、実習満足度の低い実習生が少なからず存在することが、問題として提起された。